

## 材料運搬道路及び堰堤等補修工事における各現場の安全対策

工事名 材料運搬道路及び堰堤等補修工事  
 会社名 高野・下矢組経常建設共同企業体  
 工期 平成18年4月28日  
 ～平成19年3月30日迄  
 ○現場代理人 大倉 喜美男  
 監理技術者 大前 初三



### はじめに

材料運搬道路及び堰堤等補修工事は、神通川水系砂防事務所管内の全てを対象とする工事であります。

その工事内容としては、堰堤補修・階段設置工・雨量局舎設置工等が主な作業となります。

また、他の作業は発注者の指示によりその都度しています。そのため安全対策については各施工箇所にて検討し実行しています。

今年度は、施工範囲が広範囲に及びましたが、各工事箇所にあった安全対策を実施し、各現場とも事故・怪我等が無く無事に作業を完了する事が出来ました。

その安全対策の手法について報告します。

### 工事概要

運搬路補修工	1 式	堰堤補修工	1 式
巡回工	1 式	既設石張取壊し	806m <sup>3</sup>
運搬路巡回	7 回	石張復旧工	1 式
管理用通路補修工	1 式	巨石張り	541m <sup>2</sup>
ウッドチップ舗装	480m <sup>2</sup>	コンクリート	438m <sup>3</sup>
除草工	1 式	盛土工	800m <sup>3</sup>
除草	6, 620m <sup>2</sup>	大型土嚢	530 個
雑 工			
圧力管補修	1 式	渡河施設取壊し	1 式
看板設置ライン引き	1 式	ハンドホール嵩上げ	1 式
柵設置・撤去工	1 式	魚道取水口土砂除去	1 式
砂防堰堤土砂除去	1 式	階段設置工	1 式
記念碑製作工	1 式	雨量局舎設置工	1 式
法面工	263m <sup>2</sup>		
通信管路移設工	1 式	通信管路埋設工	11. 5m
道路維持工	1 式		
舗装復旧工	1 式		
切削オーバーレイ	A=540m <sup>2</sup>	切削オーバーレイ (改質Ⅱ型)	A=62m <sup>2</sup>
区画線工	溶融式区画線 100m	ペイント式区画線	200m

## 左俣谷堰堤補修工に対する安全対策

左俣谷災害関連復旧は砂防堰堤の補修工事であり、左俣谷及び穴毛谷の流量の調査を行い、土石流に対する安全対策を検討した結果、監視カメラ、土石流センサー等を設置しました。

穴毛谷においては、上流部で復旧治山工事が行われており、無線等で双方の連絡を密にし、気象条件によっては監視員を設置して作業を行いました。

(左俣谷の監視カメラ)



(現場内のセンサー表示)



(穴毛谷の監視)



## 工事関係者連絡会の設置

左俣谷の堰堤補修工事は、工事運搬道路において他工事（穴毛谷、右俣谷）との重複使用区間が有り、登山者等の第三者の安全を確保する為に工事関係者連絡会を設置しました。

### 1・会議の開催について

第一回の開催については、工事関係者の現場代理人の参加により会議を開き、今後の活動内容について話し合いました。

## 工事関係者連絡会議開催状況



## 現場代理人による巡視状況 (登山道の確保確認)



## 舗装復旧工事に対する安全対策

舗装復旧工事は、国道 471 号と市道（一重ヶ根バイパス）に施工箇所が分かれており、どちらも通行車両と作業員との接触事故や車同士の追突事故等について安全対策を検討し、実行いたしました。

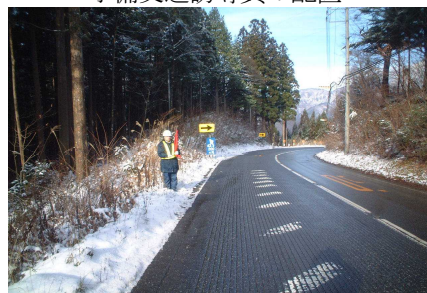
### (各施工箇所における朝の安全ミーティング状況)



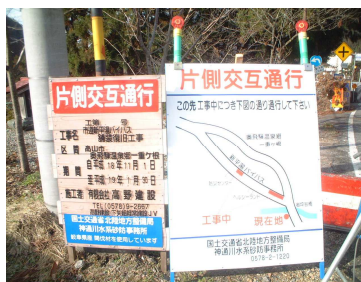
交通誘導員の配置



予備交通誘導員の配置



## 工事案内看板設置



## 雨量局舎設置に対する安全対策

金木戸地内では工事車両が集落内を通行するので、近隣住民への工事開始前、終了後の説明を行い、現場では、工事案内看板の設置及び作業前の安全ミーティングを行いました。

(各施工箇所にて朝の安全ミーティング状況)



## 問題点と改良点

当工事では施工範囲が広いのと施工期間が短いという条件の中、どうしても安全管理等がおろそかになりがちであったように思われました。

今後は、安全管理を今まで以上に重要視して行きたいと思います。

## おわりに

堰堤補修工事、舗装復旧工事、雨量局舎設置工事、またその他の工事に関しても現在のところ事故、怪我等が無く完了しています。

今後の作業においても、監督職員、工事関係者、地域住民の人達の協力及び指導を得て無事故で工事を完成させたいと思います。